

鳥取砂丘コナン空港 フォトコンテスト2021

結果発表

鳥取空港フォトコンテスト2021へ100点を超える応募をいただき、誠にありがとうございました。
厳正なる審査の結果、受賞作品が決定しましたので発表いたします。

募 集 テ ー マ

- 鳥取空港や飛行機、空の旅を表現する写真
(飛行機が写っていない可)

募 集 期 間

- 2021年7月1日～8月31日

表 彰

- 最優秀賞(1名) オオエバレーステイ ペア宿泊券
- 優秀賞 (3名) 全国百貨店共通商品券 5,000円分
- 空港ビル賞(1名) 空港テナントお菓子詰め合わせ
- 鳥取空港空の駅オヤジの会賞(1名)
空港・飛行機グッズ詰め合わせ

別途選から漏れた作品を対象にギャラリー投票によるギャラ
リー賞を選出予定(若干名)

最 優 秀 賞



SONY α7III + FE24-105mm F4G OSS 1/800 f8.0 ISO400

キミと見た夏の色

金本 祥志さん (鳥取市)

撮影日 2021年8月7日

撮影者コメント

この季節の晴れた午前便だけの特別な瞬間。

ANA飛行機が一番好きな息子と日々、鳥取空
港周辺で一緒に写真を撮って楽しんでいます。

選評

綺麗に晴れわたるチャンスを伺いながらも、被
写体となる親子の服の色コーディネート、緑と
の対比、縦構図で空の広がりを感じさせる画作
りと計算しつくされた一枚。日々、お子さんと
の写真撮影をし続けている作者ならではの視点
と作画力で文句なしの選出となりました。



Canon EOS 5D MarkIV + FE24-105mm f4L IS USM 1/1250 f11 ISO400

RWY10エンド 太陽井

菊地 祥彰さん(東京都)

撮影日 2019年8月13日

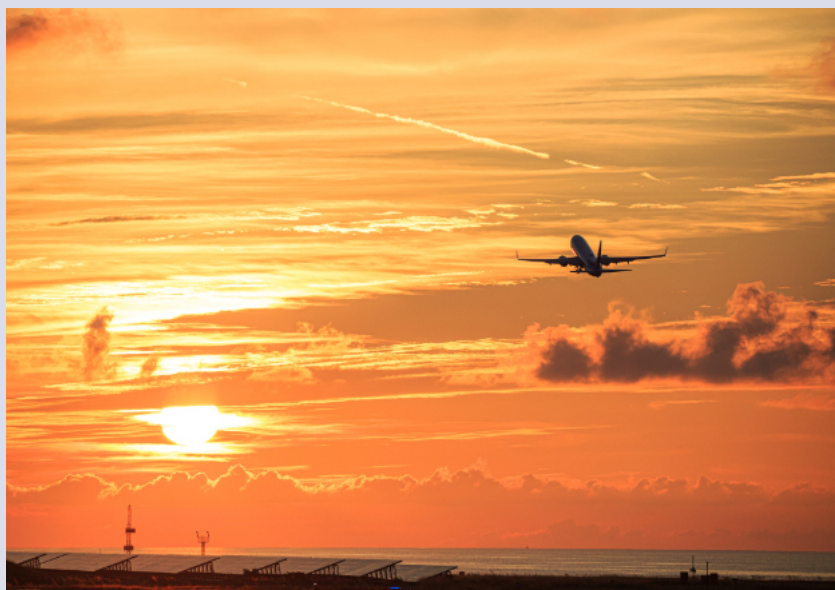
撮影者コメント

飛行機と太陽の重なり 所謂「太陽井」を狙ってみました。

前日立ち位置に失敗しリベンジの翌日、思い切って海に入って撮った一枚です。

選評

地元に居てあしげく通ってもチャンスが多くない夕陽との絡み。それを、東京からの遠征で見事射止めています。コメントにもある通り太陽と重ねるために海に入ってまで撮影した気合に脱帽です。ただ、太陽をフレームインするため厳しい撮影条件のものの画像編集の際は、過度な修正をしないよう心がけるとよいと思います。機体の周りに若干フリンジがでていたのでそこまでケアできれば更に良くなったと思います。



Canon EOS 5D MarkIII + EF100-400mm f4.5-5.6L IS II USM 1/3200 f6.3 ISO500

オレンジ色の輝き

澤田 昌宏さん(鳥取市)

撮影日 2020年8月30日

撮影者コメント

日が沈む頃、空は刻々と変化して行きます。その時、運が良ければ最高のシャッターチャンスに出会うことができます。

この作品はその1枚となりました。

選評

夕陽撮影スポットの定番構図、あしげく通っている作者のお気に入りの一枚と思います。雲の表情もよく沈む行く夕陽と飛立つ機体に旅情が感じられる作品となりました。ただ、機体と若干濃いめの雲がかかっているところが惜しく、この次のコマあたりも見たいところ。ただ、夕陽と機体の配置的にはこのコマで良かったとの判断と考えます。

ガストフロント

阿久津 雄大さん(鳥取市)

撮影日 2020年5月19日

撮影者コメント

積乱雲に伴う特徴的なアーチ雲をバックにANAのB767 が着陸してきました。

選評

荒れ気味の天候ならではの劇的なソラ、そこに居合わせないと撮ることができない一枚です。晴れてないからと諦めずに通い続けることで得られる一枚ですね。

作品の撮影条件を見ると、シャッタースピードが遅いため被写体ブレが出てしまいます。もう少しISO感度を上げて早いシャッタースピードでしっかり飛行機を止めるとさらに完成度が上がると思います。



Canon EOS80D + EF-S 24mm f2.8 STM 1/320 f8 ISO100

ありがとう-700 元気でな

宮川 大志さん(東伯郡)

撮影日 2021年6月25日

撮影者コメント

B737-700ラストフライトセレモニーの一幕。

空港スタッフの手作りの心こもったお見送りがとても印象的でした。

選評

B3-700鳥取ラストフライトのこの時のためにメッセージボードの作成、車両の位置決めをANA鳥取チーム一丸となって取り組みました。

そんなみんなの気持ちが伝わるステキなONE SHOTとして選出しました。



SONY α7III + SIGMA 70-200mm F2.8 DG OS HSM Sports 1/320 f5.6 ISO2500

※ANA B737-700 ラストフライト撮影会イベントでの撮影

夕景の中の着陸

徳安 恵美子さん(鳥取市)

撮影日 2021年5月1日

撮影者コメント

初めてのファインダーカメラで撮影した一枚です。

とても楽しく、嬉しかったのを覚えています。
夕日をあびる機体がきれいでした。

選評

夕陽を帯びて着陸する様子を空港東側から美しく捉えています。

機体の高貴さを漂わせてくれ、空、機体、空港を非常に良いバランスでおさめた1枚となっています。



Olympus E-M5 MarkIII + M.40-150mm F4.0-5.6 R 1/320 f7.1 ISO200

総 評

鳥取空港民営化以降、昨年のSNSでのフォトコンテストに続き、本年はプリント作品を対象としてのフォトコンテストを開催することとなりました。プリント応募のみと制限したことでどれだけの応募となるか心配しましたが、最終的には40名、102点の応募となりました。応募いただいた皆さん、ありがとうございました。

応募は10代から80代までと幅広い年代、県内はもとより東京、埼玉、福岡と県外からの応募もありました。コロナ禍がなければもっと様々な地域からの応募があったのではと期待します。

作品に目を向けますと、飛行機を主体としたものはもとより、人、特に家族やセルフポートレートといった表現も見られました。空港で働く人や、空港ターミナル内外をテーマにしたものと様々な視点の作品で審査に携わったもの一同、多くの刺激や気づきを得ることができました。飛行機を主体としたものの中で、いくつかスカイショット(空と飛行機のみで構成された写真)が見受けられました。「鳥取空港らしさ」を考えたときにはできれば、鳥取空港だとわかるものが配置されるとなお良かったと考えます。

次に撮影場所に目を転じますと、やはり、伏野海岸から滑走路西端(RWY10エンド)での作品が多く、全体の3割を占めていました。受賞作も同箇所からの作品が過半を占め、改めて鳥取空港におけるフォトジェニックな場所であることを認識しました。反対側、滑走路東端(RWY28エンド)は賀露港と結ぶかっこ空港ロードができてから3年が経過、本年は展望台ができたにも関わらず、1割程度と応募が振るわなかった点が心残りです。こちら側も、様々な表情の撮れる撮影スポットですので次回以降はこちらでの作品が多く応募されることを期待します。滑走路両端以外ではデッキが2割と安定した数の応募ありました。その他は、撮影者のお気に入りの場所、探した場所と多くの工夫が見られました。また、次回以降新たな発見があることを楽しみにしています。

今回のコンテストではプリントでの応募をお願いしました。皆様の作品を拝見しますと、プリントの扱いも様々なことがわかりました。拝見して気になった点として、ダストスポット(カメラセンサーについたゴミ)がそのままとなっているもの、自家プリントで用紙が斜めになっているものをそのまま出したものという、少し気をかけるだけで直せるものが直すことなく提出されていたものが見受けられました。内容の良い作品でも、そういった部分で評価が下がってしまうこともありますので、次回以降はプリントにこだわってもらえると嬉しいです。

鳥取砂丘コナン空港の魅力を皆様の力を得て発信するために、次回のコンテストに備えてぜひとも作品を撮りためていただけると嬉しいです。